

# 福祉のかけ橋

平成16年1月号

第32号

## 迎春



### 合併後も変わらぬ地域福祉の推進を

南山見地区社会福祉協議会

会長 武田清信

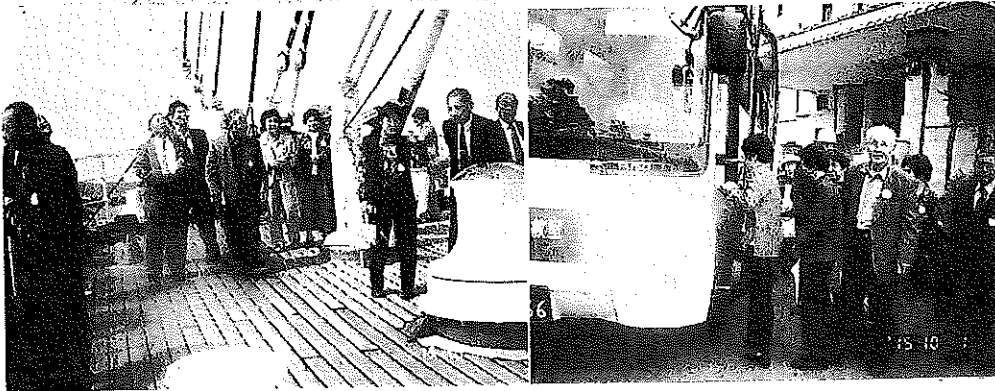
新年あけましておめでとうございます。皆様方には、穏やかな平成十六年の元旦を、ご家族お揃いでお迎えになられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

昨年はいラク戦争、総選挙等国内外とも話題の多い一年でした。

今年の福祉の大きな問題の一つに町村合併による社会福祉協議会の合併問題があげられると思います。市町村協会は、地域住民の参画と協働で地域住民の自立生活を支援し、福祉社会の実現を目指す団体であります。八つの地区には夫々優れた分野が多くあると思いますが、福祉の後退にならぬよう上手に纏めて欲しいものです。

地区社協は今年も小地域ネットワーク活動、小地域ふれあい事業、地域総合福祉対策事業、民生児童委員、ボランティアグループとの連携活動支援等を、地域住民参加により実施したいと考えております。

皆様方の一層のご指導、ご鞭撻をお願いいたします。



# 第12回 台同三二託老 敬老の集い

9/28



コシヒカリの刈取りも終つての、晴天の九月二十八日午前十時から南山見公民館で台同三二託老、第十二回「敬老の集い」が開催されました。

前日の晩から食改の人達が料理の準備をし、また朝八時から、その他民生委員、婦人会、ボランティアの方々にも送迎、接待等を担ってもらい、八十歳以上の高齢者(対象 百五人) 五十六人のご参加をいただき、午前十時半青少年育成町民会議の松井三良さんの司会で武田清信地区社協会長が挨拶をして始め、浄教寺住職、高瀬顕正師の法話「自在に生きる」を大変分かり易く、心の中に浸み入る程に聞かせて戴き時には合掌をし念仏の声も聞こえて来しました。昼食後には前川哲郎、才川昌一町議、前川正男自治振興会長、滝田栄三公民館長、武田久信地区老連会長さん方にも加わってもらい、

奮闘一〇〇食の「心づくしの料理」を賞味、終始和やかに歓談し、皆さん一会を飲んでおられました。

午後一時半から松井三良さんの司会で「敬老の集い」を始め、百歳以上の武田久太郎、池田源郎、高橋ユキさんに武田清信地区社協会長より記念品を贈りお祝い申し上げ南山見地区より立派な人達が出ておられることを賛辞し、山本秀夫町社協会長、大和秀夫社福支援センター長の励ましの言葉を頂戴してから一時間余老人クラブ民謡部会、すみれ会、南山見子供会の舞踊、松田美枝さんの手品を観覧していただき、一芸ごとに大きな拍手喝采……。「上手ヤネ」「可愛いネ」の声が聞かれました。午後三時終了、送迎担当の人達により招待者を送ってもらいました。みんなで支え合った一日、ご苦労様でした。(事務局)

## 第一回 ハ之女福祉カレッジ

町民総合大学と合同学習

講演 「自己を磨くもの、活かすもの」

講師 法相宗大本山 興福寺

貴賓 多川俊 映師

7/10

七月十日、井波町総合文化センターで行われた平成十五年度(第三回)町民総合大学に合同学習として参加した。

内容は、法相宗の「教義」即ち

「すべての現象は心の発現である」とする唯識仏教について話され、この「唯識」の概念を最もよく表現している文章として、堀内大学(詩人・文化勲章受章者)の「座右の銘」と「自らに」の文章を引用し、分かりやすく説明された。

- その①「座右の銘」
- 暮らしは分が大事である
- 気楽が何より薬です
- そねむ心は自分より以外のものを傷つけぬ
- その②「自らに」
- 雨の日は雨を愛そう
- 風の日には風を好もう
- 晴れた日は散歩をしよう
- 貧しくば心に富もう
- すこし難しい節もあったが、自分なりに理解し、感銘を受けた。

須川義孝 記

## 第二回 ハ之女福祉カレッジ

地区社協と高齢者教室と合同学習

8/24

一、法話「相互礼拝相互供養」

講師 高野山真言宗・弥勒山安居寺

再中興第三世住職

大谷龍 寶師

お盆も過ぎ、墓参りも終り、その日は良い天候に恵まれ、たくさんの方々の参加を得ました。先生は高野山真言宗の教えを広め、飛躍的に再興されたご苦労の

様子や仏道修業の話。先生は神職の家に生まれ、由緒ある安居寺に入寺されたいきさつから、高野山での学問の様子や身近な仏道修業のことなどについて話されました。私たちが普段、家でお仏壇にお参りする時、お灯明やお仏飯をあげる事が修業であり、自分の心を照らし、仏への階段を登ることであるとお話に感心しました。私たちに、それぞれ仏心があるので「相互礼拝相互供養」しましょうと、しめくられました。



## 二、保健学習

「心も体もリフレッシュ」

講師 井波町保健センター

指導係長 荒田清 香氏

高齢者の健康管理についての禁煙、節酒、睡眠、水分補給、食品の中でも野菜を十分にとるなどの諸条件、老人の体にあつた無理のない運動について話を聞き、最後に健康体操で体をほぐし、和やかなうちに学習会を終えました。

須川茂信 記

第三回 ハニ女福祉カレッジ

県政バス教室による社会見学



十月一日、県政バス教室による学習会が地区社協と南山見高齢者教室と合同で実施され、天候にもめぐまれさわやかな秋の一日をすごしました。

最初は、高岡万葉歴史館の見学となり、大伴家持の越中の地で詠んだ万葉集やその時代の貴族の食生活、家持の生涯等についても展示があり、その時代時代の貴族の生活を垣間見る思いがしました。

次に、海王丸パークに行き、広々としたパークの岸壁に優美な船体を見ながら内部見学となり、当時の若人の訓練の様子が目に浮ぶような気がしました。

現役中は、半世紀にわたり地球を五十周航海し、延べ一万余名の若人を育てたそうです。総帆展帆に会えなかったのが残念でした。

最後は、県警本部と県会議事堂

を見学し、県の中核部分を見る思いがしました。

県警では犯罪事故災害等の際、瞬時に分る中央管制室やコンピュータ室等を見て、緊急ダイヤルの有効使用や相談等について学び、参考になる点が多くありました。

また、県会議事堂では議長室、副議長室や各議員さんの部屋も完備され、県議会は県民の代表者が集まって豊かな富山県にするための最高の議決機関であるためかと、改めて感心したと思います。

最後に副知事の挨拶を受け、一諸に記念撮影をしたのがなによりも印象的でした。

富山県には、ふだん耳にしなから行ったことがない素晴らしい所や施設がたくさんあります。皆さんもぜひ行ってみたいかがですか。 小橋外喜雄 記

第四回 ハニ女福祉カレッジ

高齢者教室と合同学習会

学習1 健康講座

「高齢者の肥満について」

講師 公立井波総合病院

内科部長 手丸理恵先生

高齢者の肥満は、脳梗塞等成人病の原因になるばかりでなく、体重増が足腰の負担増になり、骨折等日常生活の大きな障害になります。

肥満を防ぐには、食生活と運動が大切です、食事は朝は多めに、昼は程々、夜はやや少なめに、野菜を多くとる。

また、高齢者の成人病と日常生活全般についても詳しく説明されましたが、大変よいお話ばかりで、この次は、質問等を準備して、是非お聞きしたいと思います。

学習2 交通安全教室

「高齢者の事故防止」

講師 井波警察署

交通課長 布一幸 雄様 県安全協会 教育推進委員3名

最初に交通課長から、事故防止について挨拶があり、教育推進委員女性三名が事故防止の歌を歌ったり寸劇を行ったり、大変賑やかに交通安全の重要さを説明されましたが、やはり高齢者の夜間外出は危険で、夜の歩行や自転車運転の安全の為にピカピカシール貼りの大切さを再確認しました。

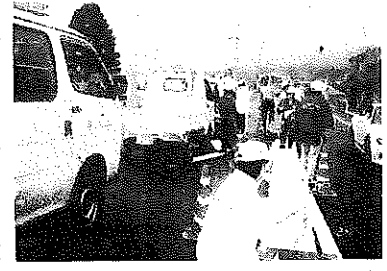
武田清信 記

秋の交通安全運動

秋の全国交通安全運動実

ハニ女街道

施中の九月二十四日、JAとなみ野の機械センター前で、井波警察署の指導により交通安全協会南山見分会長さん、地区社協の方々、ボランティアグループの



皆さんと交通安全全キャンペーンを行いました。井波城端線を往来するドライバーさん達に、二班に分れ「気を付けて運転して下さいね!! マナー守ってくださいね!!」と事故なしの梨と、死亡なし(脂肪)怪我なし(やわらかくてケガしない)のコンニャクと、ボランティアグループが心を込めて作った亀(ゆっくり)のマスコットをお渡ししました。

運転手さん達は「気が付けますちゃ 有難う!!」と微笑んで答えました。清々しい気持ちで、マスコットが安全運転を見守ってくれることを願いつつ帰路につきました。 岩崎保子 記

受賞の喜び

- 県社会福祉協議会表彰 南山見保育所 所長 武田 静子 様
- 井波町社会福祉長表彰 個人の部 吉田 明枝 様 吉花 枝郎 様 徳成 健二 様 箭原 健二 様
- 井波町ボランティアグループ連合会長表彰 個人の部 前川 昭子 様

### 平成15年度 南山見地区社協事業経過

H15. 11末まで

年月日	実施事業	場所
H15. 7. 1	マーシ園施設等整備工事起工式 (会長 出席)	マーシ園
7. 10	第1回八乙女福祉カレッジ 町民大学福祉講座 法相宗大本山興福寺貫首 多川俊映師	井波文化センター
7. 15	「福祉のかけ橋」第31号発行	
8. 15	南山見忠魂碑追悼慰霊祭 (会長 出席)	谷地内
8. 21	第2回八乙女福祉カレッジ (南山見高齢者教室：地区社協合同学習会)	南山見公民館
9. 1	役員会 (敬老の集い 先進地視察事業ほか協議)	"
9. 5	高齢者教室 地区社協合同役員会	"
9. 24	交通安全協力 (マスコット 事故なし (梨) 配布)	南山見地区内
9. 28	合同ミニ託老所 敬老の集い	南山見公民館
10. 1	第3回八乙女福祉カレッジ 先進地視察事業 県政バス教室	富山県内
11. 13	第4回八乙女福祉カレッジ 南山見高齢者教室 地区社協合同学習会	南山見公民館
11. 22	南山見保育所生活発表会 (地区社協役員出席)	南山見保育所
11. 28	第15回ボランティアもう一人運動	マーシ園

#### 第十五回

### ボランティア もう一人運動

去る十一月

二十八日、午

後一時三十分

よりマーシ園

で「Vもう一

人運動」が実

施されました。

当日は、地

区社協武田会

長の挨拶に始

まり、沢田園

長さんからマ

シ園の現状と二〇〇四年、四

月にオープンする身体障害者

療護施設等の説明され、その

中に地域交流センターを併設



入所者と職員、地域住民の心

長田綾子 記

これからも多くの方々にボランティアに参加して頂き、地域と交流の輪が深まってほしいと思います。

#### \* 編集後記 \*

一年の世相を表す「今年の漢字」「虎」が放映されたが、なぜ「虎」なのか正確に理解出来なかつたので、インターネットで調べたところ、日本漢字能力検定協会が公募しており、その結果過去最多の約八万七四〇〇票のうち、プロ野球阪神タイガースの優勝で「虎」が二割以上と圧倒的だった。ばつとしない世の中を反映してか、「不景気の日本を盛り上げた」「政治にも星野前監督のようなリーダーを」と、阪神ファン以外からも票を集めた。

一方、イラクへの自衛隊派遣を「虎の尾を踏む」「虎穴に入る」に例え、併せて虎を選んだ理由に挙げた人も多く、次点以下は「戦」「乱」と続いた、と。

さて皆さん、新しいこの年はどんな漢字になるのでしょうか。(田舎の蛙記)

#### 平成15年度 単位託老所運営委託 助成金の地区別助成額について

今年度四地区社協から町当局へ要請してありました単位託老所運営委託助成金について、左記のとおり通知がありました。

- 一、総助成額 一、二〇万円
- 二、南山見地区配賦額 二九万円

訳 単位老人クラブ 二四万円  
 (六クラブ 一クラブ四万円)  
 地区社協 五万円

#### 今後の事業スケジュール

- 1/17(土) ミニ託老所 世話方研修 (調理実習・会食交流会第1回) 世話方指導 食改グループ指導
- 2/7(土) 会食交流会第2回 (一人暮らし老人・高齢者世帯) 世話方 ボランティアグループ
- 2月予定 三世代交流の集い
- 3/7(日) 在宅看護者リフレッシュ研修会
- 3月予定 一人暮らし老人へ花鉢植贈呈

号数	第三二一号
発行	平成十六年一月
所在	富山県井波町川原崎 南山見公民館内
発行者	南山見地区社協

◎ 読んだら綴りましょう